



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2017

No. 3 (2017年4月29日発行)

## SGH2年目始動へ！ ～「SGH 講演会」開催～

2017年4月19日(水) 3、4時限目にSGH2年目の本格始動となる「SGH 講演会」を本校体育館で開催しました。以下、本講演会のプログラムです。

1. 校長挨拶
2. 今年度のSGH活動について (SGH推進部長 野城充生)
3. SGH活動報告
  - ①「海外グローバル研修」(カナダ)報告  
(山田萌果(2-1)、鴫田夏芽(2-2)、阿部有希(2-3)、牛久保杏咲(2-3))
  - ②「ニュージーランド北島カピティ島の地質研修」報告(佐藤遼佑(2-3))
4. 講演 「トビタテ!SGH佐高からグローバルな世界へ」(東京海洋大学教授 小松俊明先生)

### 《校長挨拶・今年度のSGH活動について》



校長による本校の説明に続いて、SGH推進部長による昨年度までの活動内容の報告、及び今後取り組むべき課題についての発表がありました。SGHで取り組むこととして、以下の2点を強調しました。

- ①課題研究において、答えのない問いへの挑戦をチームとして協働して行う。
- ②大学との連携を図り、より高い目標を置いて研究に励む。

また、中高一貫校ならではの、中高連携を図り、6年間の計画的な取組についての説明がありました。

続いて講演会に先立ち、本校生徒による昨年度のSGH活動の海外グローバル研修及びニュージーランド調査研究の報告を行いました。

### 《SGH活動報告①「海外グローバル研修」(カナダ)》



山田萌果さん(2-1)、鶴田夏芽さん(2-2)、阿部有希さん(2-3)、牛久保杏咲さん(2-3)の4名から「海外(カナダ)グローバル研修」の報告がありました。4名を含む計41名の生徒が、3月8日(水)~3月17日(金)の10日間カナダにホームステイし、現地での様々な活動を通して、言語や文化を学びつつ、グローバル社会を力強く生き抜いていける心と力の伸長を図ってきました。プリティッシュコロンビア大学訪問や現地でのボランティア活動、またレクリエーションを通して現地の仲間と交流を深め、大変有意義な研修になったようです。4名のとても力強い発表からも、充実した研修であったことが伝わりました。

## 《SGH 活動報告②「ニュージーランド北島カピティ島の地質研修」》



佐藤遼佑くん(2-3)から「ニュージーランド北島カピティ島の地質研修」の報告がありました。佐藤くんは、宇都宮大学が展開する高校生向けの科学人材育成プログラムである「グローバルサイエンスキャンパス(iP-U)」に参加しており、その一環として本研修に取り組みました。主に放散虫(単細胞原生動物)についての調査を行い、その際に環境保護省(DOC)が管轄する自然保護区であるカピティ島に入るというとても貴重な体験をしたことを、分かりやすく発表してくれました。

## 《講演 「トビタテ! SGH 佐高からグローバルな世界へ」》



講演は、昨年度のキックオフセレモニーの時と同じく東京海洋大学の小松俊明教授にいただきました。テーマは「トビタテ! SGH佐高からグローバルな世界へ」でした。

何もかもグローバル化が進む今日に、SGHの目的は、国際教養・コミュニケーション力・問題解決力を身につけて、真のグローバルリーダーを育てることであるということを改めて御教示いただきました。

また、SGH佐高の目標実現のために、以下の6つの資質・能力を兼ね備えた人材を育成することの必要性を提示いただきました。

- ① 課題を発見し、向き合う力
- ② 論理的、批判的に思考する力
- ③ 協働して課題を解決する力
- ④ 情報を発信する力
- ⑤ 英語で伝える力
- ⑥ グローバル社会に貢献する高い志とチャレンジ精神

さらに、グローバル時代を生きる高校生の必須条件として以下の4点を挙げていただき、激励の言葉をいただきました。

- ① 世界を知る
- ② 日本を知る
- ③ 多言語を話す
- ④ 海外に行く

これから本校の2年目のSGH活動が本格化します。活動の様子は、今後当HPでお知らせしていきます。ぜひご期待下さい。